



東北特殊鋼株式会社  
TOHOKU STEEL CO.,LTD.

証券コード:5484

# 第125期 報告書

2023年4月1日～2024年3月31日

TOHOKU STEEL Business Report



# 株主の皆様へ



代表取締役社長 成瀬 真司

株主の皆様には、平素より東北特殊鋼をご支援いただき、誠にありがとうございます。

心より厚く御礼申し上げます。

当社第125期(2023年4月1日から2024年3月31日まで)の事業について、ご報告を申し上げます。

## 当期の事業概況について

当期は連結での売上高が21,337百万円、経常利益は1,384百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は974百万円と前年実績を下回りました。

特殊鋼業界の主要な需要先である自動車産業においては、部品不足の解消に伴い生産台数は回復基調にあります。しかし、部品メーカーの在庫調整が長引くことでサプライチェーンの上流である特殊鋼需要は未だ回復に至らず、販売量は前年実績を下回りました。また、販売価格の値上げや原価低減活動効果を上回る原材料、電力費などの製造コスト上昇により、利益面でも前年実績を下回りました。

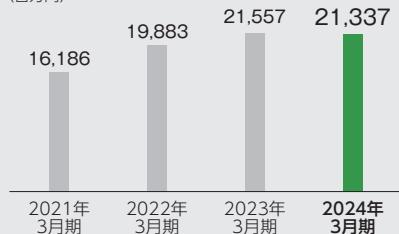
## [23中期経営計画]について

当社グループが2021年に策定した「中期経営計画(2021年度～2023年度)」の実績についてご報告いたします。

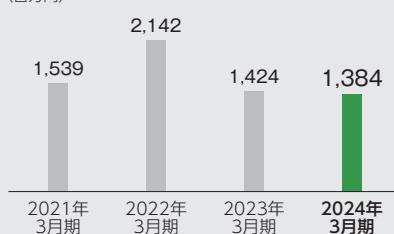
不動産賃貸事業は安定した売上高を計上し、当社グループの利益に貢献した一方で、特殊鋼事業は、コロナ禍を発端とする自動車産業の減産や、円安などを背景とした製造費用高騰の影響を受け、当中期経営計画策定期間において不安定な事業環境が継続いたしました。上昇した

## 業績ハイライト

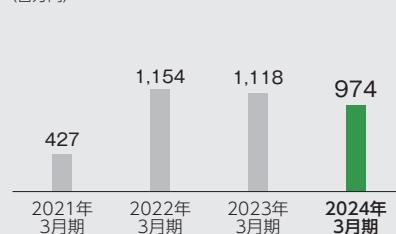
売上高  
(百万円)



経常利益  
(百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益  
(百万円)



製造費用を販売価格に転嫁することで売上高は目標を上回りましたが、販売量の減少による固定費負担の増加とさらなる諸費用の高騰により、経常利益とROS(売上高営業利益率)は目標を達成できませんでした。

2021年度から2023年度の3年間は、当計画の基本コンセプト「技術変革の激流をも力に変え 社会の期待を先取りし応え続ける『開発機能会社』への進化」に従い、各活動計画を実行してまいりました。

既存の特殊鋼ビジネス領域における強み商品を拡販するため、生産設備の新設や新市場探索活動に取り組んでまいりました。一方で、既設の工場建屋や設備の一部では老朽化が進んでおり、商品ポートフォリオの見直しとともに計画的な維持更新にも取り組んでおります。

新事業・新商品の領域では、オープンイノベーションを基軸とした事業化・新商品開発を強化してまいりました。新エネルギー・産業技術総合開発機構のグリーンイノベーション基金事業にも採択された次世代モーター用素材の開発や、当社が開発した電気と振動を双方向で変換できる磁歪クラッド材を用いた商品開発(農業向け害虫防除機器、振動発電センサー)など、次世代商品の開発・実用化に向けた取り組みを推進しております。

海外事業の領域においては、現地子会社との連携強化を図ってまいりましたが、タイ子会社では新規受注の獲得などの効果が得られた一方で、インド子会社では受注計画を達成することができませんでした。

最後に、事業基盤の領域として企業風土改革やDX推進活動にも注力し、特に企業風土改革では、人事制度の見直しやサステナビリティ活動の強化など、コミュニケーションや部門横断活動を促進する環境を整えるとともに、博士号取得支援制度の新設、女性の働きやすさの向上など、

人的資本への投資を積極的に実行してまいりました。

## ○ 今後の展望・業績見通しについて

この3年間は「開発機能会社」への進化を目指し、将来の利益獲得に向けた様々な取り組みを実行してまいりましたが、慢性的な需要変動やさらなる製造費用の上昇など、当社グループにとって想定困難な事業環境への変化が進み、これまでのような収益性を確保することが難しくなってきております。その中で来期は、値上げ活動や高付加価値商品を中心とした拡販活動をこれまで以上に強化し、収益力の向上に取り組んでまいります。また、新規受注品に合わせて製造ラインを増強するとともに、老朽化した工場設備や設備の修繕・更新を行い、より一層の生産性の向上と安定化を図ります。それぞれの活動の中で新たに増えてきた課題についてはリスクを評価し迅速に対応することで、不確実性が高い事業環境でも安定した利益を創出できるよう企業の体制を強化してまいります。

これらの施策を通じ、グローバルブランドの確立を目指すとともに、良き企業市民としてコンプライアンス、環境保全など様々な課題に積極的に取り組み、持続可能な社会の実現への貢献を目指してまいります。

これからも、ますます多様化する社会の期待を先取りし応え続ける「開発機能会社」へ進化すべく、チーム一丸で取り組んでまいります。ステークホルダーの皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

売上高

21,337 百万円  
(前期比1.0%減)

営業利益

1,263 百万円  
(前期比2.6%減)

経常利益

1,384 百万円  
(前期比2.8%減)

親会社株主に帰属する  
当期純利益

974 百万円  
(前期比12.9%減)

## 事業別概況

# 特殊鋼事業

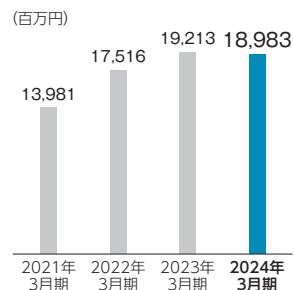
特殊鋼事業の主要な需要先である自動車産業や半導体産業においては、部品メーカーの在庫調整が長引き、サプライチェーンの上流における需要はまだ回復していません。さらに電力をはじめとした製造コストの高騰などが影響し、特殊鋼事業については、前期実績を下回り、売上高18,983百万円となりました。



売上高

18,983百万円

(前期比1.2%減)



# 不動産賃貸事業

不動産賃貸事業は、商業施設の新規出店工事があり、売上高は前期実績を若干上回る2,353百万円となりました。

売上高

2,353百万円

(前期比0.4%増)



## 新設備「磁気焼鈍炉」稼働 商品ポートフォリオ改革に向け設備を新設

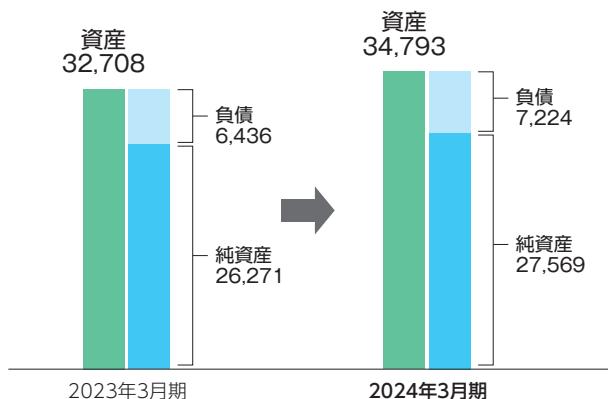
東北特殊鋼の「電磁ステンレス鋼(以下、K-M鋼)」は、いわば「さびにくさを強みとする電磁石」です。自動車の燃料噴射装置や空気・水を制御する機器など、様々な場面で使用されており、社会の電動化に必要な商品です。EVなどの電動車の普及が加速する中、内燃エンジン向け商品が主力である当社の商品ポートフォリオ改革を推進するため、K-M鋼は重要な役割を果たすことが期待されます。磁気焼鈍炉による熱処理は、K-M鋼が持っている磁気特性を向上させることができ、搭載される機器の性能向上に貢献します。

当社は当期から、今回新設した磁気焼鈍炉による量産を開始いたしました。既存の磁気焼鈍炉に加え、今回の新設により電磁ステンレス鋼製造のボトルネックを解消し、将来の拡販も含めた商品のポートフォリオ改革を進めていきます。

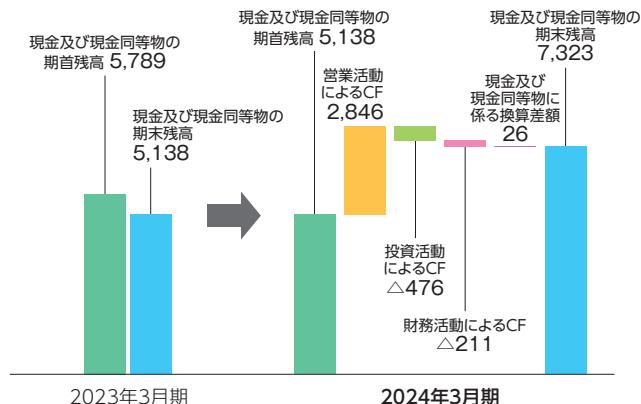


# 連結財務諸表

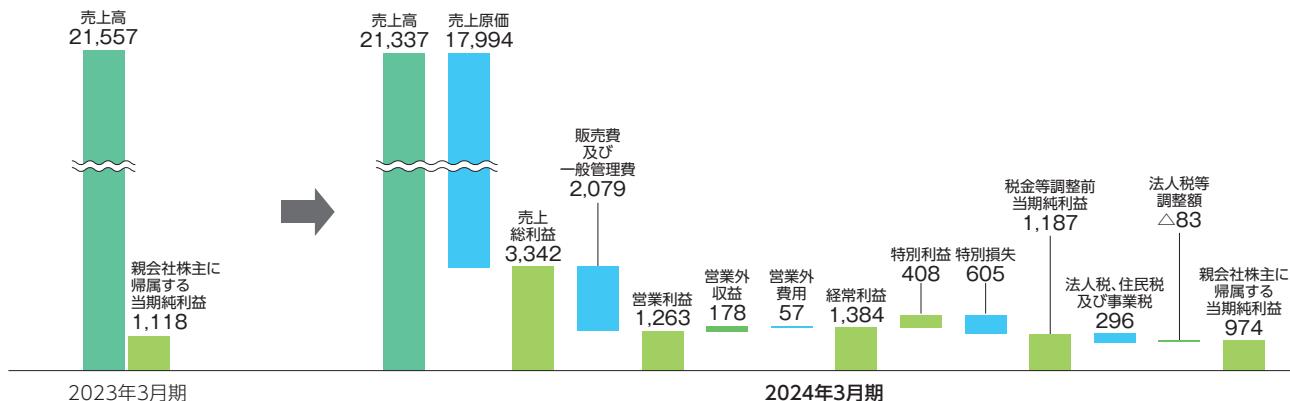
連結貸借対照表の概要 (単位: 百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位: 百万円)



連結損益計算書の概要 (単位: 百万円)



詳細はこちらをご覧ください。 <https://www.tohokusteel.com/investors/performance/>



# 会社概要／株式の状況

## 会社概要 (2024年3月31日現在)

商号	東北特殊鋼株式会社(Tohoku Steel Co.,Ltd.)
設立年月日	1937年4月20日
資本金	8億2,750万円
代表者	代表取締役社長 成瀬 真司
決算期	3月
従業員数	単体：378名、連結：595名(嘱託、臨時従業員を除く)
本社	宮城県柴田郡村田町大字村田字西ケ丘23
工場	本社(村田)、土浦
営業所	東京、名古屋、仙台(村田本社内)

## 株式の状況 (2024年3月31日現在)

- 発行済株式の総数(普通株式) 7,528,859株 (自己株式21,141株を除く)
- 株主数 795名
- 大株主

株主名	持株数	持株比率
大同特殊鋼株式会社	2,549 千株	33.86 %
岡谷鋼機株式会社	752	9.99
東京窯業株式会社	631	8.38
光通信株式会社	563	7.49
株式会社UH Partners 2	474	6.30
株式会社UH Partners 3	395	5.26
株式会社七十七銀行	300	3.99
三井住友信託銀行株式会社	200	2.66
芝本産業株式会社	173	2.30
株式会社エスアイエル	120	1.60

- (注) 1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。  
2. 持株比率は自己株式21,141株を控除して計算しております。

## 取締役および監査役 (2024年6月25日現在)

代表取締役社長	成瀬 真司
取締役	江幡 貴司
取締役	尾形 仁
取締役	板橋 弘昭
取締役	木村 利光
社外取締役	牛込 進
社外取締役	羽山 暁子
常勤監査役	藤井 利光
社外監査役	氏家 照彦
社外監査役	伊藤 慎悟

## 関連会社

### 東特エステートサービス株式会社

【設立年月日】1964年3月30日

【主な事業内容】ビル総合管理業務、ビル・工場等の警備、清掃等のメンテナンス、不動産の賃貸、売買、仲介業務、駐車場の経営

### 東特興業株式会社

【設立年月日】1971年4月6日

【主な事業内容】特殊鋼仕入販売、加工製品受託加工、熱処理受託加工、金属原材料の仕入販売

### TOHOKU Manufacturing (Thailand)Co.,Ltd.

【設立年月日】2011年5月26日

【主な事業内容】特殊鋼加工製品の製造・販売

### TOHOKU STEEL INDIA PRIVATE LIMITED

【設立年月日】2017年5月5日

【主な事業内容】特殊鋼材の製造・販売

## 株式についてのご案内

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 (その他必要がある場合は、あらかじめ公告して定めます。)
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店ならびに 全国各支店で行っております。
公告の方法	電子公告(当社ホームページに掲載) 【アドレス】 <a href="https://www.tohokusteel.com">https://www.tohokusteel.com</a> ※ただし、やむを得ない事由により電子公告による公告をすることが できない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

### (お知らせ)

#### 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

#### 未払い配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



〒989-1393 宮城県柴田郡村田町大字村田字西ケ丘23  
<https://www.tohokusteel.com/>  
電話 0224-82-1010 (代表)  
FAX 0224-82-1020



## HP案内

当社のHPでは、詳細な情報を掲載しております。  
是非併せてご覧ください。



株主の皆さまの  
声をお聞かせください

コエキク

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。  
お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

こちらは株主様向けアンケートです。  
詳細はお手元の冊子をご覧ください。

ご回答いただいた方の中から  
抽選で薄謝を進呈させていただきます。

本アンケートは、株式会社プロネクサスの提供する「コエキク」サービスにより実施いたします。  
アンケートのお問い合わせ「コエキク事務局」  
✉ [koeikiku@pronexus.co.jp](mailto:koeikiku@pronexus.co.jp)

〒989-1393 宮城県柴田郡村田町大字村田字西ケ丘23  
<https://www.tohokusteel.com/>  
電話 0224-82-1010 (代表)  
FAX 0224-82-1020



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。